

ご存じですか?『くすりのしおり®』 ～充実したバリアフリー対応～

「くすりのしおり®」は個々の医薬品を製造・販売している製薬企業各社から提供される最新のデータ、当協議会が品質確保と利便性向上に努めている、患者さんのための信頼性の高い医薬品情報です。

「くすりのしおり®」は、「くすりのしおりクラブ」に参加している会員企業123社(2009年3月末時点)が作成しています。

医薬品ごとにA4サイズの情報シートとなっており、効能・効果や副作用、使用上の注意などについて、薬剤師から患者さんへ効率的に情報伝達ができ、印刷すれば患者さんに持て帰って頂くこともできます。

現在は薬局の電子薬歴システム、日本医師会のORCAシステムなどのデータベースとして活用され、また患者さん自身が処方された医薬品について調べることもできる活用範囲の広いホームページです。

掲載品目数は内服・外用剤:約8,600、注射剤:約920、英語版:約980となっており、当協議会では、引き続き内容の充実に努めています。

●充実したバリアフリー対応

「くすりのしおり®」はバリアフリー促進に配慮しています。

①「くすりのしおり®」英語版

医療機関を訪れる在日外国人に医療関係者がくすりの説明をスムーズに実施できるように、「くすりのしおり®」英語版を積極的に作成しています。

②視覚障がい者向けに音声コード付与

視覚障がい者は点字が読めると思われがちですが、日本の視覚障がい者約31万人のうち7割以上は、糖尿病などによる後天的な視覚障がいで、点字を読める人はその中の1割程度にすぎません。音声コードを付与することで、視覚障がい者が自ら音声で処方された医薬品の情報を聞くことができます。

③視力の弱い方や目の疲れやすい方への対応(くすりの適正使用協議会ホームページ全体)

簡単なマウス操作で文字を拡大したり、自動的に音声で読み上げるようにすることで、ホームページの閲覧が容易になります。

さらに、読み上げ速度や音量は簡単に調整でき、また、背景の色や文字の色を変えて、利用者ごとに読みやすい色で閲覧することも可能です。

くすりのしおり	
620009092 2009年3月作成	
<small>薬には効果(ペネフィット)だけでなく副作用(リスク)があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。</small>	
商品名: コディオ配合錠 EX 主成分: バルサルタン (Valsartan) ヒドロクロロテアジド (Hydrochlorothiazide) 剤形: ごくうすい赤色の錠剤、直径: 8.5mm、厚さ: 4.0mm シート記載: コディオ配合錠 EX、NV137	
	
この薬の作用と効果について 体内で産生されるアンジオテンシンIIの血管収縮を遮断し、また腎臓のナトリウム排泄促進により循環血流量を減少させて、高血圧症の血圧を下げます。 通常、高血圧症の治療に用いられます。	
次のような方は使う前に必ず医師や薬剤師に伝えてください。 <ul style="list-style-type: none"> 以前に薬を服用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。無尿または透析中、体液中のナトリウム・カリウムが減少している、腎障害、肝障害、高カリウム血症、痛風、糖尿病、減塩療法中、手術予定の中。 妊娠または授乳中 他に薬を使っている(お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に服用する医薬品に注意してください)。 	
用法・用量(この薬の使い方) <ul style="list-style-type: none"> あなたの健康・用量はく ; 医療担当者記入 通常、成人は1回1錠を1日1回服用します。必ず指示された服用方法に従ってください。 飲み忘れた場合は気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が8時間以内の場合は、忘れた分を飲まないで1回分を飛ばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。 	
生活上の注意 <ul style="list-style-type: none"> 血圧が低くなることにより、めまい、ふらつきが起こることがありますので、高所での作業、車の運転や危険を伴う機械の操作には注意してください。 	
この薬を使ったあと気をつけいただきこと(副作用) 主な副作用として、めまい、頭痛、低血圧(立ちくらみ)などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。 まれに下記のような症状があらわれ、【】内に示した副作用の初期症状である可能性があります。	
こののような場合には、使用をやめて、すぐ医師の診療を受けてください。 <ul style="list-style-type: none"> 呼吸困難、荨麻疹、全身にかゆみを伴った発赤【アナフィラキシー様症状】 顔面や唇、咽喉や舌の腫れ、息苦しい【血管浮腫】 尿量減少、浮腫、食欲不振【腎不全】 脳や手足のしづれ、筋力の減退、手足の麻痺【高カリウム血症】 意識消失、嘔吐、冷感【ショック、失神、意識消失】 	
以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。	
保管方法その他 <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。 	
<small>医療担当者記入欄 年 月 日</small>	
<small>より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。</small>	

英語版

【「くすりのしおり®」検索画面】

音声コード

【視力の弱い方や目の疲れやすい方でもホームページは容易に閲覧可能】

協議会トップページ右上「バリアフリー対応ページ」よりバリアフリーソフトをダウンロードする。

協議会ホームページのどのページを開いても右図囲み部分にある設定ボタンが上部に表示される。

「くすりのしおり®」ページを開いた場合、文字サイズは「拡大」「縮小」ボタンをクリック。配色の変更は「配色」ボタンをクリック。

●求められている医薬品情報

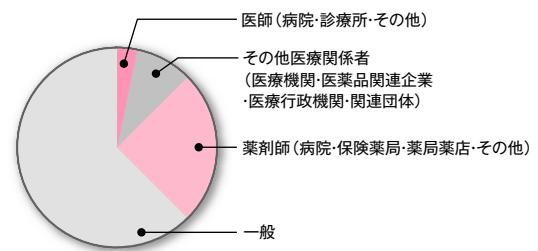
「くすりのしおり®」は服薬説明書の性格を持っており、患者さんと医療従事者間のコミュニケーション促進に役立ちます。07年～08年の約1年、当協議会で行った「くすりのしおり®」ウェブアンケート調査(図①)によれば、職業と勤務場所についての質問で約60%の人が「一般」と回答しています。

患者さんは自ら服用しているくすりや治療中の病気に対したいへん関心が高く、また治療方法の選択肢においても情報を求めています。多くの一般の人が薬局で提供される情報以外にホームページの「くすりのしおり®」からより詳しい医薬品情報を入手しているようです。

医療従事者の方は患者さんが必要としている医薬品情報をもっと詳細に伝えるためにも、是非「くすりのしおり®」のデータベースを活用し、さらなるパートナーシップにお役立てください。

【図①】

医師(病院・診療所・その他)	19	2.86%
その他医療関係者 (医療機関・医薬品関連企業・医療行政機関・関連団体)	63	9.49%
薬剤師(病院・保険薬局・薬局薬店・その他)	142	21.39%
一般	440	66.27%
合計	664	100%



「くすりのしおり®」開発の経緯

「くすりのしおり®」は、「個別医薬品服薬指導情報集」(厚生労働省)に掲載されている500品目の情報提供から開始し、2000年には製薬企業57社の協力により約2,400品目の最新情報がインターネットを通じて医療関係者に限定提供されました。

2003年、医師会のORCAシステムに「くすりのしおり®」のデータベースを提供するとともに、「くすりのしおり®」を情報公開しました。さらに、アンケート結果で医療担当者から強い要望があった注射剤の「くすりのしおり®」を開発、内服・外用剤とあわせて全製薬企業に作成、掲載を依頼しました。

開発から13年が経過し、患者・医療消費者の医療に対する意識もかなり変化してきたことを受け、2007年10月には製薬企業(「くすりのしおりクラブ」会員)の全面的な協力のもと、新版「くすりのしおり®」に切り替えとなりました。その後、厚生労働省医薬食品局安全対策課の要請もあり、2007年4月からは「くすりのしおり®」が「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の「一般のページ」とリンクし、「患者向医薬品ガイド・くすりのしおり」からの検索も可能となっております。

【くすりのしおり®】ホームページ
<http://www.rad-ar.or.jp/siori/index.html>